



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 阿多 親市

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理統括 (氏名) 長田 隆明

TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	19,678	20.8	572	0.4	541	△7.3	330	1.8
26年3月期第2四半期	16,286	1.3	570	△17.2	584	△32.5	324	△46.0

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 377百万円 (△3.4%) 26年3月期第2四半期 391百万円 (△33.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	34.13	33.73
26年3月期第2四半期	33.54	33.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	20,891	10,354	46.2	995.43
26年3月期	19,218	9,629	49.2	977.93

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 9,642百万円 26年3月期 9,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	8.3	1,700	24.1	1,700	24.7	1,000	57.2	103.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) サイバートラスト株式会社、ミラクル・リ
ナックス株式会社、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	10,649,100 株	26年3月期	10,640,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	961,890 株	26年3月期	961,890 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,682,360 株	26年3月期2Q	9,678,310 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成26年10月29日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催いたします。決算補足説明資料はTDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<http://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>)にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	(百万円)			(円)	
	売上高	営業利益	経常利益	四半期 (当期) 純利益	1株当たり 四半期 (当期) 純利益
平成27年3月期第2四半期	19,678	572	541	330	34.13
平成26年3月期第2四半期	16,286	570	584	324	33.54
増減率	20.8%	0.4%	△7.3%	1.8%	1.8%
(参考) 平成26年3月期	36,951	1,370	1,363	636	65.74

ソフトバンク・テクノロジーグループの当第2四半期連結累計期間における売上高は19,678百万円（前年同期比+20.8%）、営業利益572百万円（前年同期比+0.4%）、経常利益541百万円（前年同期比△7.3%）、四半期純利益330百万円（前年同期比+1.8%）となりました。

主な増減要因は、次のとおりであります。

(a) 売上高

売上高は19,678百万円となり、前年同期と比較して3,391百万円（20.8%）増加しました。これは主に、ソフトバンクグループ企業向けのシステムインテグレーション事業が好調に推移したことに加えて、ソフトバンクグループ外企業向けのマイクロソフトソリューション事業において、大型案件や契約社数が増加したことによるものです。また、セキュリティ関連製品の販売及び構築案件が売上高の増加に貢献したほか、平成26年4月にサイバートラスト(株)、平成26年7月にミラクル・リナックス(株)を子会社化したことも増収に寄与しました。

(b) 限界利益

限界利益は5,101百万円となり、前年同期と比較して1,466百万円（40.3%）増加しました。また、限界利益率は25.9%となり、前年同期と比較して3.6ポイント向上しました。これは主に、システムインテグレーション事業及びプラットフォームソリューション事業が好調に推移したことや、サイバートラスト(株)及びミラクル・リナックス(株)の子会社化によるものです。子会社各社は、自社技術を生かした付加価値の高いコンテンツやサービスを提供しており、利益率の向上にも貢献しております。

(c) 固定費

固定費は4,528百万円となり、前年同期と比較して1,464百万円（47.8%）増加しました。これは主に、フロントワークス(株)、(株)環、サイバートラスト(株)、ミラクル・リナックス(株)の子会社化や、業務拡大のための人員の増強と本社移転に伴うオフィス関連費用の増加によるものです。このほか、子会社の増加や成長への投資に伴い、減価償却費が増加しました。

(d) 営業利益

上記(a)～(c)の結果、営業利益は572百万円となり、前年同期と比較して2百万円（0.4%）増加しました。

(e) 営業外損益

営業外損益は31百万円の損失（前年同期は13百万円の利益）となり、前年同期と比較して44百万円減少しました。これは主に、投資事業組合運用損の増加及び支払利息によるものです。

(f) 税金等調整前四半期純利益

(d)～(e)の結果、税金等調整前四半期純利益は541百万円となり、前年同期と比較して38百万円（6.7%）減少しました。

(g) 法人税等合計

法人税等合計は195百万円となり、前年同期と比較して56百万円（22.5%）減少しました。

(h) 四半期純利益

(f)～(g)の結果、四半期純利益は330百万円となり、前年同期と比較して5百万円（1.8%）増加しました。

なお、第1四半期より、従前からのセグメントである「イービジネスサービス事業」「ソリューション事業」を統合し、「ICTサービス事業」の単一セグメントに変更いたしました。「ICTサービス事業」を構成する主要なサービスについては、次のとおりであります。

セグメント	サービス区分	主なサービスの内容	主な事業会社の名称	
報告 セグメント	ICT サービス 事業	デジタル マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ECサイト運営代行サービスの提供 ・フォントセットの販売、ならびにウェブフォントサービスの提供 ・ウェブサイトのアクセスログ解析ツールや、付随するコンサルティングサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・フォントワークス(株) ・(株)環 ・亞洲電子商務科技有限公司 ・SOLUTION BUSINESS TECHNOLOGY KOREA Ltd.
		プラットフォーム ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバ・ストレージ、ネットワークなど、法人企業のIT基盤の構築や付随する運用保守サービスの提供 ・サーバ証明書や端末認証サービス、脆弱性診断サービス等の提供 ・リナックスを中心としたオープンソースソフトウェアのソリューションの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・ミラクル・リナックス(株)
		システム インテグレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・法人企業の情報システムの開発や付随する運用保守サービスの提供 ・マイクロソフト社クラウドサービス移行支援や、自社サービスの提供 ・モバイルアプリケーションサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・M-SOLUTIONS(株) ・モバイルインターフェイス(株)

① デジタルマーケティング

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	8,939	9,366	427	4.8%
限界利益	1,327	1,342	15	1.1%

＜ 当事業を構成する主なサービス ＞

- ・シマンテックストア、ウェブフロント、外貨決済サービス等、ECサービスの提供
- ・Adobe Analytics、Google Analytics Premium、sibulla等、ウェブ解析サービスの提供
- ・SIGNAL Consulting等、データアナリティクスサービスの提供

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は9,366百万円となり、前年同期と比較して427百万円(4.8%)増加しました。データ解析事業においては、Adobe社やGoogle社のウェブアクセス解析ツールの契約社数が好調に推移したことで増収となりました。また、平成25年6月にフォントワークス(株)及び(株)環を子会社化したことにより売上高が増加しました。

限界利益は1,342百万円となり、前年同期と比較して15百万円(1.1%)増加しました。シマンテックストア事業において利益率が低下したものの、フォントワークス(株)及び(株)環の子会社化により、前年同期並みとなりました。

② プラットフォームソリューション

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	4,451	6,153	1,702	38.3%
限界利益	1,100	1,979	878	79.8%

〈 当事業を構成する主なサービス 〉

- ・ Cisco、hp、VMware等の製品を活用したIT基盤の構築、運用保守サービスの提供
- ・ McAfee、FireEye、ForeScout等の製品を活用したセキュリティ基盤の構築、保守サービスの提供
- ・ サーバ証明書、デバイス認証、脆弱性診断サービス等、セキュリティサービスの提供

〈 当事業の業績概況 〉

当事業の売上高は6,153百万円となり、前年同期と比較して1,702百万円（38.3%）増加しました。これは主に、法人企業向けのシンクライアント等のIT基盤構築や運用・保守サービスが好調に推移したことや、セキュリティ事業において、FireEye等の新たなセキュリティ製品に関する受注が増加したことによるものです。また、サイバートラスト㈱及びミラクル・リナックス㈱を子会社化したことも増収に寄与しております。

限界利益は1,979百万円となり、前年同期と比較して878百万円（79.8%）増加しました。これは主に、法人向けのIT基盤構築の売上高が増加したことに加えて、サイバートラスト㈱とミラクル・リナックス㈱を子会社化したことによるものです。

③ システムインテグレーション

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	2,896	4,158	1,262	43.6%
限界利益	1,206	1,779	572	47.4%

〈 当事業を構成する主なサービス 〉

- ・ 法人企業向けの情報システムの開発、運用保守サービスの提供
- ・ マイクロソフト社「Office 365」「SharePoint」「Microsoft Azure」関連サービスの提供
- ・ 上記に付随した自社サービス「Online Service Gate」「ADFS on Cloud」等の提供

〈 当事業の業績概況 〉

当事業の売上高は4,158百万円となり、前年同期と比較して1,262百万円（43.6%）増加しました。これまで当社は、大型案件の受注獲得に向けて、技術者の積極採用と高度技術資格取得を推進し、当事業に技術者リソースを集中投入してまいりました。その結果、システムインテグレーション事業において、ソフトバンクグループ向けのシステム開発案件の受注が好調に推移しました。また、マイクロソフトソリューション事業において、ソフトバンクグループ外企業向けの大型案件や契約社数が増加したほか、自社サービスである「Online Service Gate」や「ADFS on Cloud」等の契約社数も順調に推移しました。これらの結果、事業全体では前年同期を上回る増収となりました。

限界利益は1,779百万円となり、前年同期と比較して572百万円（47.4%）増加しました。これは主に、システムインテグレーション事業及びマイクロソフトソリューション事業が好調に推移したことで、売上高が伸長したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	平成26年3月期	平成27年3月期第2四半期	(参考) 平成26年3月期第2四半期
総資産	19,218	20,891	16,110
純資産	9,629	10,354	9,267
自己資本比率	49.2%	46.2%	56.6%

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より1,672百万円増加して20,891百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少はありましたが、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末より173百万円増加しました。

固定資産は、子会社株式取得に伴うのれん、ソフトウェアの増加などにより、前連結会計年度末より1,499百万円増加しました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より947百万円増加して10,536百万円となりました。

流動負債は、未払金の減少などにより、前連結会計年度末より204百万円減少しました。

固定負債は、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末より1,152百万円増加しました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、少数株主持分の増加などにより、前連結会計年度末より725百万円増加して10,354百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(百万円)

	平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第2四半期	(参考) 平成26年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	477	1,864	209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,949	△2,195	△2,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206	1,819	△248
現金及び現金同等物の増減額	△3,677	1,489	△2,457
現金及び現金同等物期末残高	2,532	5,242	3,752

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より1,489百万円増加して5,242百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,864百万円のプラスとなりました（前年同期は477百万円のプラス）。主な増加要因は、売上債権の減少額1,654百万円、税金等調整前四半期純利益541百万円です。また、主な減少要因は、仕入債務の減少額894百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,195百万円のマイナスとなりました（前年同期は3,949百万円のマイナス）。主な減少要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,027百万円、有形固定資産の取得による支出858百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,819百万円のプラスとなりました（前年同期は206百万円のマイナス）。主な増加要因は、長期借入による収入1,600百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成26年4月24日に公表しました平成27年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、サイバートラスト(株)の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間において、ミラクル・リナックス(株)の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,830,820	5,326,154
受取手形及び売掛金	7,136,219	5,871,192
商品	39,904	67,020
仕掛品	117,382	272,308
短期貸付金	—	1,800
繰延税金資産	210,848	356,201
その他	1,315,343	929,388
貸倒引当金	△8,360	△8,604
流動資産合計	12,642,158	12,815,461
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	458,601	571,256
工具、器具及び備品(純額)	900,937	937,313
建設仮勘定	39,946	—
有形固定資産合計	1,399,485	1,508,569
無形固定資産		
のれん	961,533	1,452,634
ソフトウェア	766,458	1,180,012
ソフトウェア仮勘定	171,117	96,163
顧客関連資産	718,474	686,542
その他	13,121	325,827
無形固定資産合計	2,630,706	3,741,180
投資その他の資産		
投資有価証券	1,078,723	1,198,684
繰延税金資産	242,023	280,101
その他	1,283,730	1,404,955
貸倒引当金	△58,460	△57,868
投資その他の資産合計	2,546,017	2,825,872
固定資産合計	6,576,208	8,075,622
資産合計	19,218,367	20,891,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,804,803	4,021,041
1年内返済予定の長期借入金	4,200	324,600
リース債務	93,717	99,986
未払金	1,439,272	471,003
未払法人税等	283,825	352,578
賞与引当金	389,128	504,602
役員賞与引当金	—	29,433
受注損失引当金	1,087	20,193
その他	891,756	1,879,457
流動負債合計	7,907,790	7,702,896
固定負債		
社債	200,000	100,000
長期借入金	8,450	1,125,750
リース債務	572,198	543,600
繰延税金負債	179,659	165,114
長期前受金	333,947	377,311
負ののれん	896	—
退職給付に係る負債	56,510	102,213
資産除去債務	163,156	243,251
その他	166,460	176,460
固定負債合計	1,681,278	2,833,700
負債合計	9,589,069	10,536,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	634,555	639,241
資本剰余金	712,204	716,890
利益剰余金	8,728,873	8,865,774
自己株式	△747,634	△747,634
株主資本合計	9,327,999	9,474,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,180	166,344
為替換算調整勘定	1,576	2,305
その他の包括利益累計額合計	136,756	168,649
新株予約権	51,113	70,019
少数株主持分	113,428	641,545
純資産合計	9,629,297	10,354,486
負債純資産合計	19,218,367	20,891,083

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	16,286,655	19,678,614
売上原価	14,458,240	16,716,465
売上総利益	1,828,414	2,962,148
販売費及び一般管理費	1,257,819	2,389,293
営業利益	570,595	572,855
営業外収益		
受取利息	4,261	444
受取配当金	4,060	2,400
持分法による投資利益	—	7,714
為替差益	619	7,695
雑収入	10,017	4,848
営業外収益合計	18,958	23,102
営業外費用		
支払利息	1,013	15,662
投資事業組合運用損	—	37,643
雑損失	4,398	1,069
営業外費用合計	5,412	54,375
経常利益	584,140	541,581
特別損失		
減損損失	4,267	547
特別損失合計	4,267	547
税金等調整前四半期純利益	579,873	541,034
法人税、住民税及び事業税	261,348	322,555
法人税等調整額	△9,310	△127,319
法人税等合計	252,037	195,236
少数株主損益調整前四半期純利益	327,836	345,798
少数株主利益	3,234	15,331
四半期純利益	324,601	330,466
少数株主利益	3,234	15,331
少数株主損益調整前四半期純利益	327,836	345,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,761	31,164
為替換算調整勘定	584	728
その他の包括利益合計	63,346	31,892
四半期包括利益	391,182	377,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	387,948	362,359
少数株主に係る四半期包括利益	3,234	15,331

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	579,873	541,034
減価償却費	210,218	421,054
減損損失	4,267	547
のれん償却額	23,331	71,915
株式報酬費用	10,660	20,939
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,357	△1,140
賞与引当金の増減額(△は減少)	32,197	24,972
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	29,142	29,433
受注損失引当金の増減額(△は減少)	598	19,106
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	5,085
受取利息及び受取配当金	△8,321	△2,844
支払利息	1,013	15,662
持分法による投資損益(△は益)	—	△7,714
投資事業組合運用損益(△は益)	△2,692	37,643
売上債権の増減額(△は増加)	542,864	1,654,976
たな卸資産の増減額(△は増加)	△151,311	△167,898
営業債権の増減額(△は増加)	△97,943	△107,243
仕入債務の増減額(△は減少)	△254,461	△894,078
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,523	139,203
営業債務の増減額(△は減少)	△137,360	316,491
その他	616	1,344
小計	746,811	2,118,490
利息及び配当金の受取額	4,411	2,851
利息の支払額	△1,013	△15,662
法人税等の支払額	△272,618	△241,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	477,590	1,864,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△89,901	△858,137
無形固定資産の取得による支出	△243,807	△352,834
有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△103,646
投資有価証券の売却による収入	—	7,540
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,493,249	△1,027,839
貸付けによる支出	△2,300,000	—
貸付金の回収による収入	845	150
差入保証金の差入による支出	△20,166	△32,924
差入保証金の回収による収入	—	275,524
資産除去債務の履行による支出	—	△97,177
その他	△3,026	△6,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,949,306	△2,195,346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,923	—
長期借入れによる収入	—	1,600,000
長期借入金の返済による支出	—	△162,300
配当金の支払額	△193,271	△193,495
新規取得設備のリース化による収入	—	629,430
リース債務の返済による支出	△16,879	△61,242
その他	5,566	7,404
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,507	1,819,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	584	728
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,677,639	1,489,333
現金及び現金同等物の期首残高	6,209,901	3,752,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,532,262	5,242,019

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

「2. 当第2四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

2. 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社グループは、ICTサービス事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度において、報告セグメント情報における事業区分は「イービジネスサービス事業」、「ソリューション事業」の2つに区分しておりましたが、平成26年4月1日に更なる成長のために全社一丸となることを意図した「One SBT」のコンセプトのもと社内組織改編を行い、事業部制を廃止し、報告事業単位が一つとなったため、当第1四半期連結会計期間より単一の事業区分となりました。